

汚れものを隠す

—失禁への対応

認知症
しち-はち-きゅう
789
みんなであそんで
試して
学んで

汚れものを隠す

認太郎…主人公 (認知症)



認太…息子

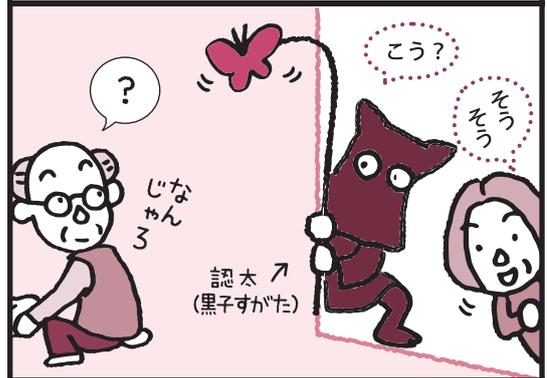
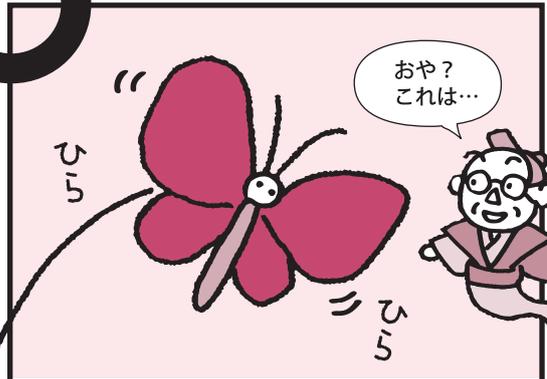
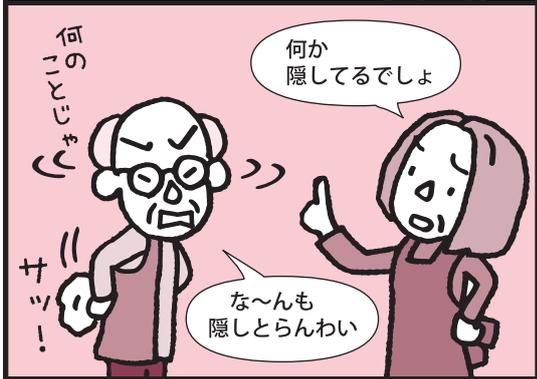
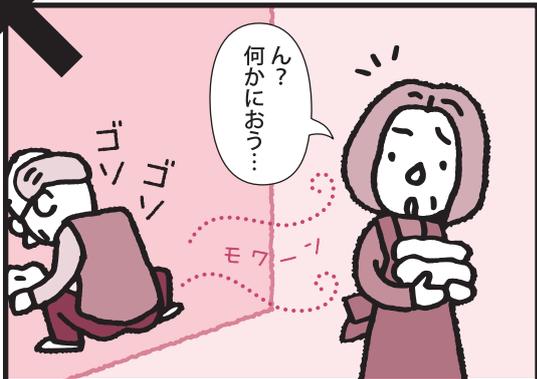


知子…嫁



認左衛門

…認太郎一家のご先祖
守り神、お助けマン



*いつもうまくいくわけではありません。

汚れものを隠す

—失禁への対応



行動・心理症状(人により出方が異なる): 問題解決能力の障害

汚れた下着を隠すことの原因が何かを、まず検討する必要があります。失禁の原因には様々なものがあります。トイレの場所がわからない、尿意を感じにくい、尿道周辺の筋肉のゆるみによるもの、…原因によって対応方法が変わってきます。

場所がわからないのであれば、トイレまで誘導する。尿意を感じにくいのであれば、タイミングをみてトイレの声かけをする。筋肉のゆるみであれば、一時的にでも尿とりパッドを使うことも良いでしょう。

汚れた物を隠すという行為は、本人にしてみれば「どう対処したらいいかわからないけど、恥ずかしいから見えないところにしまってしまう」ということなのです。

このケースの
ポイント

どうすれば
いい?

対応法 ①

本人に気づかれないように片付ける。デイサービスなどを活用して本人がいない間に片付けると良いでしょう。



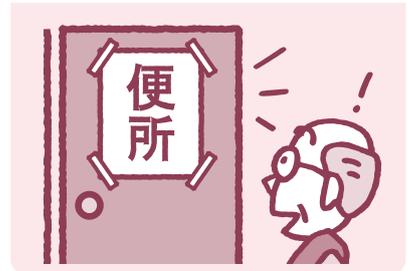
対応法 ②

尿意を伝えられない場合でも、何かいつもと違う行動をとる場合があります。観察して、そわそわしたり歩き回るなどあったら、誘導してみましょう。



対応法 ③

トイレの場所がわかりやすいように工夫してみましょう。



高齢になると動作が遅くなり、尿意を感じても我慢ができず、失禁、放便をしてしまうことがあります。中等度の認知症では羞恥心が残っている場合が多く、汚したことを恥じて、タンズや押し入れに尿や便で汚れた衣類をしまい込んでしまうことがあります。これに対して良い薬があるわけではありません。どうしてそうなったのか、その原因に気付いて適切に対応できると、症状が軽減することがあります。

尿失禁については、泌尿器科的疾患が原因のこともあるので、一度は受診してみてください。医学的な見方からすれば、尿や便が出なくなってしまうことの方が大事件です。「失禁であっても出ないよりまし」です。とはいつても、介護者の負担は大きいですね。良い便が出て良かったと思って、淡々とお世話していただければありがたいです。

医師からの
アドバイス

— 志村病院 伊藤 道子 (認知症サポート医、もの忘れ相談医)

